



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ヨコオ

コード番号 6800 URL <http://www.yokowo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長 (氏名) 徳間 孝之

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 横尾 健司

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日

配当支払開始予定日

TEL 03-3916-3111

平成24年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	14,904	12.9	555	78.9	424	—	207	—
24年3月期第2四半期	13,197	△7.1	310	△66.1	7	△98.8	△250	—

(注)包括利益 25年3月期第2四半期 △393百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △667百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第2四半期	10.36	—
24年3月期第2四半期	△12.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
25年3月期第2四半期	22,429		14,496		64.6
24年3月期	22,895		15,010		65.6

(参考)自己資本 25年3月期第2四半期 14,496百万円 24年3月期 15,010百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年3月期	—	3.00	—	6.00	9.00
25年3月期	—	4.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	9.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	29,000	3.8	950	4.1	800	13.4	450	32.1	22.49

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規制」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	20,849,878 株	24年3月期	20,849,878 株
25年3月期2Q	844,658 株	24年3月期	844,597 株
25年3月期2Q	20,005,254 株	24年3月期2Q	20,005,362 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、一進一退を繰り返す欧州債務危機の動向に大きく左右される状況が続きました。先進諸国は依然として回復軌道に乗れず、中国・インド等新興国においても減速感が強まることとなりました。

わが国におきましては、震災復興事業の執行に伴う公共投資の拡大や、民間設備投資の緩やかな回復といった内需拡大傾向も出てきている一方、海外経済の減速による輸出・生産の弱含み、エコカー補助金終了などから、消費減退・景気下振れリスクも懸念されております。

当社グループの主要市場である自動車市場、半導体製造・検査市場、携帯電話市場におきましては、各市場全体としては成長率鈍化の傾向が強まっておりますが、環境対応車やスマートフォン関連を中心に需要拡大が続いている市場セグメントもあり、競合企業間のシェア争いも激化の一途をたどっております。

このような状況の中、当社グループは、経営基本方針に掲げる3つのイノベーション（プロダクト/プロセス/パーソネル）の推進に取り組み、各事業における戦略製品の開発・提案、ベトナム工場本格稼働、マレーシア工場の生産設備増強などに注力いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、東日本大震災の影響を強く受けた前年同期に比べて大幅な増収となりました。ファインコネクタ事業の減収により無線通信機器セグメントが減収となったものの、車載通信機器セグメント及び回路検査用コネクタセグメントの増収により、149億4千万円（前年同期比+12.9%）となりました。これを受けて、各利益につきましても、前年同期比で大幅な増加となりました。営業損益は、製品・事業構成の変化等による利益率低下、中国における労務費増加などがありましたが、5億5千5百万円の利益（前年同期比+78.9%）となりました。経常損益は、円高等に伴う為替差損1億4千6百万円の計上などにより、4億2千4百万円の利益（前年同期比4億1千7百万円の増加）となりました。四半期純損益は、国内外子会社の増益などに伴う税金費用の増加がありましたが、2億7百万円の利益（前年同期比4億5千7百万円の増加）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

<車載通信機器>

当セグメントの主要市場である自動車市場は、中国・インド・ブラジルなど新興国の経済成長が減速しつつあるものの、着実に拡大を続けております。一方、国内市場におきましては、新車販売を後押ししたエコカー補助金制度が終了し、その反動減が現れてきております。

このような状況の中、当社グループの主力製品であるマイクロアンテナをはじめとする自動車メーカー向け製品の販売は、前年同期を大幅に上回りました。国内向けフィルムアンテナの販売が地デジ化対応需要の一巡により前年同期を大きく下回りましたが、セグメント全体としては好調な推移となりました。

この結果、当セグメントの売上高は86億9千万円（前年同期比+20.7%）と、前年同期比で大幅な増収となりました。セグメント損益につきましては、1億9千8百万円の利益（前年同期比4億1千7百万円の増加）となりました。

<回路検査用コネクタ>

当セグメントの主要市場である半導体検査市場は、伸び悩む半導体市場の中でも好調を維持すると見られているスマートフォン関連を中心に、検査需要が拡大している市場セグメントもあります。

このような状況の中、海外大手顧客に対する積極的な拡販活動が奏功し、当社グループの主力製品であるIC検査用BGAソケットをはじめ、ICUユニットリング・ウエハ検査用垂直プローブカードも前年同期を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は28億4千5百万円（前年同期比+13.1%）と、前年同期比で増収となりました。セグメント損益につきましては、1億9千8百万円の利益（前年同期比+13.1%）となりました。

<無線通信機器>

当セグメントの主要市場である携帯電話市場は、順調に利用拡大が進むスマートフォンに牽引され、成長が続いておりますが、セットメーカーなど供給側においては、競争優位の世界大手数社による寡占化が進んでおります。

このような状況の中、微細スプリングコネクタを中核製品とするファインコネクタ事業におきましては、新規取引獲得が売上に寄与しましたが、一部の海外大手顧客からの受注の低迷が響き、売上高は前年同期を下回りました。

携帯電話機向けアンテナ事業につきましては、海外大手顧客のスマートフォン/タブレットPC新機種へ

の採用拡大により内蔵メインアンテナ/サブアンテナの受注が当第2四半期において急伸し、売上高は前年同期を上回りました。

当セグメントに含めておりますメディカル・デバイス事業につきましては、重点拡販製品の見直しなどによる一時的な販売減少がありました。売上高は前年同期を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は33億6千7百万円（前年同期比△3.2%）と、前年同期比で若干の減収となりました。セグメント損益につきましては、2億4千1百万円の利益（前年同期比△13.2%）となりました。

(事業セグメント別連結売上高)

(単位：百万円、%)

	前年度上期	前年度下期	当年度上期	前年同期比	前半期比
	自平成23年4月 至平成23年9月	自平成23年10月 至平成24年3月	自平成24年4月 至平成24年9月		
	売上高	売上高	売上高	増減率	増減率
車載通信機器	7,200	9,122	8,690	+20.7	△4.7
回路検査用コネクタ	2,515	2,560	2,845	+13.1	+11.1
無線通信機器	3,480	3,053	3,367	△3.2	+10.3
合計	13,197	14,736	14,904	+12.9	+1.1

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、有形固定資産増加2億5千万円などに対し、売上債権減少3億8千2百万円、投資有価証券減少3億9千6百万円などにより、224億2千9百万円（前連結会計年度末比4億6千5百万円の減少）となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、1年内返済予定の長期借入金減少2億円などに対し、短期借入金増加1億円、仕入債務増加1億2百万円、未払法人税等の増加8千3百万円などにより、79億3千2百万円（前連結会計年度末比4千7百万円の増加）となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、四半期純利益2億7百万円を計上しましたが、その他有価証券評価差額金減少2億8千万円、為替換算調整勘定減少3億2千万円、前連結会計年度に係る期末配当金の支払1億2千万円などにより、144億9千6百万円（前連結会計年度末比5億1千3百万円の減少）となりました。

(自己資本比率)

当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は64.6%（前連結会計年度末比△0.9ポイント）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、36億9千5百万円（前年同期比2億2千9百万円の増加）となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産増加1億9千2百万円などの減少要因がありましたが、税金等調整前四半期純利益4億1千4百万円、減価償却費5億7千2百万円、売上債権減少2億5千1百万円、仕入債務増加1億4千5百万円などの増加要因により、13億9千6百万円の収入（前年同期比2億2千8百万円の収入増加）となりました。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出7億5百万円、無形固定資産の取得による支出3億4百万円などにより、10億1千1百万円の支出（前年同期比5億7千6百万円の支出増加）となりました。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入れによる収入2億円の増加要因がありましたが、短期借入金の返済による支出1億円、長期借入金の返済による支出2億円、リース債務の返済による支出1億4千6百万円、配当金の支払額1億2千1百万円などの減少要因により、3億6千7百万円の支出（前年同期比7億6千1百万円の支出増加）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績は、前記「(1) 連結経営成績に関する定性的情報」に記載のとおり前年同期を上回りましたが、各利益につきましては当初業績予想値を下回る結果となりました。欧州債務危機や新興国経済の減速などから経営環境の不透明性がさらに高まっており、当社主要市場における種々の前提条件が当初の想定より厳しくなる可能性が高いと見込まれることから、平成24年5月1日公表の連結業績予想(通期)を以下のとおり修正いたします。

詳細につきましては、本日(平成24年11月8日)付公表の「平成25年3月期 連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(単位: 百万円、%)

	当初業績予想 (平成24年5月11日公表)	修正業績予想 (平成24年11月8日公表)	増 減	増 減 率
売 上 高	29,000	29,000	—	—
営 業 利 益	1,400	950	△450	△32.1
経 常 利 益	1,250	800	△450	△36.0
当 期 純 利 益	800	450	△350	△43.8

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更
(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更に伴う影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,830,100	3,695,295
受取手形及び売掛金	6,834,509	6,452,099
商品及び製品	1,254,119	1,267,952
仕掛品	473,565	445,503
原材料及び貯蔵品	1,170,616	1,279,392
その他	890,020	820,534
貸倒引当金	△2,225	△1,566
流動資産合計	14,450,707	13,959,211
固定資産		
有形固定資産	5,377,742	5,628,461
無形固定資産		
その他	799,496	954,885
無形固定資産合計	799,496	954,885
投資その他の資産	2,267,273	1,886,892
固定資産合計	8,444,512	8,470,239
資産合計	22,895,220	22,429,450
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,650,958	3,753,447
短期借入金	400,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	200,000	—
未払法人税等	57,707	141,683
賞与引当金	325,459	379,847
その他	1,604,915	1,548,645
流動負債合計	6,239,040	6,323,625
固定負債		
長期借入金	500,000	500,000
退職給付引当金	318,718	317,009
その他	827,329	792,363
固定負債合計	1,646,048	1,609,373
負債合計	7,885,088	7,932,998
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,996,269	3,996,269
資本剰余金	3,981,928	3,981,928
利益剰余金	8,708,027	8,795,281
自己株式	△991,126	△991,152
株主資本合計	15,695,098	15,782,326
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	175,566	△104,785
為替換算調整勘定	△860,533	△1,181,089
その他の包括利益累計額合計	△684,967	△1,285,874
純資産合計	15,010,131	14,496,452
負債純資産合計	22,895,220	22,429,450

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	13,197,132	14,904,102
売上原価	10,371,755	11,729,660
売上総利益	2,825,376	3,174,442
販売費及び一般管理費	2,514,693	2,618,627
営業利益	310,683	555,815
営業外収益		
受取利息	4,250	3,157
受取配当金	24,370	21,007
受取保険金	—	14,582
その他	24,320	13,445
営業外収益合計	52,941	52,193
営業外費用		
支払利息	21,593	17,009
為替差損	312,314	146,167
その他	22,050	20,096
営業外費用合計	355,958	183,273
経常利益	7,666	424,734
特別利益		
固定資産売却益	639	644
投資有価証券売却益	—	417
特別利益合計	639	1,062
特別損失		
固定資産売却損	13	344
固定資産除却損	43,633	10,184
投資有価証券評価損	179,651	370
その他	24,569	—
特別損失合計	247,867	10,898
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△239,560	414,898
法人税、住民税及び事業税	57,967	193,985
法人税等調整額	△47,007	13,626
法人税等合計	10,959	207,612
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△250,520	207,285
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△250,520	207,285

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△250,520	207,285
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33,610	△280,351
為替換算調整勘定	△383,691	△320,555
その他の包括利益合計	△417,302	△600,907
四半期包括利益	△667,822	△393,621
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△667,822	△393,621
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△239,560	414,898
減価償却費	560,554	572,875
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△918	△435
賞与引当金の増減額(△は減少)	46,347	56,243
退職給付引当金の増減額(△は減少)	7,980	△1,708
受取利息及び受取配当金	△28,621	△24,164
受取保険金	—	△14,582
支払利息	21,593	17,009
為替差損益(△は益)	99,881	134,495
固定資産売却損益(△は益)	△626	△300
固定資産除却損	43,633	10,184
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△417
投資有価証券評価損益(△は益)	179,651	370
売上債権の増減額(△は増加)	△1,214,385	251,653
たな卸資産の増減額(△は増加)	△287,177	△192,330
仕入債務の増減額(△は減少)	333,581	145,490
その他	△84,048	18,280
小計	△562,114	1,387,560
利息及び配当金の受取額	28,621	24,164
利息の支払額	△21,328	△14,922
保険金の受取額	—	14,582
法人税等の支払額	△177,269	△14,534
営業活動によるキャッシュ・フロー	△732,091	1,396,851
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△339,547	△705,969
有形固定資産の売却による収入	1,452	1,385
無形固定資産の取得による支出	△80,763	△304,917
投資有価証券の売却による収入	—	19,217
その他	△16,212	△21,599
投資活動によるキャッシュ・フロー	△435,071	△1,011,883
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	—	△100,000
短期借入れによる収入	700,000	200,000
長期借入金の返済による支出	—	△200,000
リース債務の返済による支出	△125,693	△146,031
配当金の支払額	△180,348	△121,089
その他	△62	△26
財務活動によるキャッシュ・フロー	393,895	△367,147
現金及び現金同等物に係る換算差額	△96,219	△152,625
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△869,487	△134,805
現金及び現金同等物の期首残高	4,335,151	3,830,100
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,465,664	3,695,295

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	車載通信機器	回路検査用 コネクタ	無線通信機器	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,200,989	2,515,605	3,480,537	13,197,132	—	13,197,132
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	78,059	—	78,059	△78,059	—
計	7,200,989	2,593,664	3,480,537	13,275,191	△78,059	13,197,132
セグメント利益又は損失(△)	△218,998	175,233	277,801	234,037	76,646	310,683

(注) セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っています。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	234,037
たな卸資産未実現利益調整額	74,925
たな卸資産評価減調整額	14,556
その他調整額	△12,836
四半期連結損益計算書の営業利益	310,683

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	車載通信機器	回路検査用 コネクタ	無線通信機器	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,690,800	2,845,650	3,367,651	14,904,102	—	14,904,102
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	85,879	—	85,879	△85,879	—
計	8,690,800	2,931,529	3,367,651	14,989,981	△85,879	14,904,102
セグメント利益	198,131	198,106	241,092	637,330	△81,515	555,815

(注) セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っています。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	637,330
たな卸資産未実現利益調整額	△42,049
たな卸資産評価減調整額	△20,858
その他調整額	△18,607
四半期連結損益計算書の営業利益	555,815

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。